

さけ・ます資源増大対策調査事業（サクラマス幼魚回遊生態調査）

静 一徳

目的

サクラマスの放流条件および資源変動要因の検討のため、北上期のサクラマス幼魚の回遊生態を把握する。

材料と方法

2015年1月～6月に、尻労（大型定置）、関根浜、牛滝、黒崎（小型定置）の4地点にて、定置網により混獲されたサクラマス幼魚を、漁業者の協力により日付別に採集した（図1）。採集した幼魚は10%ホルマリンで固定した。内水面研究所へ搬送後、尾叉長、体重を測定し、標識（鰭カット、リボンタグ等）を確認した。また、尻労、関根浜において定置網に水温ロガーを設置し、表層水温を計測した。

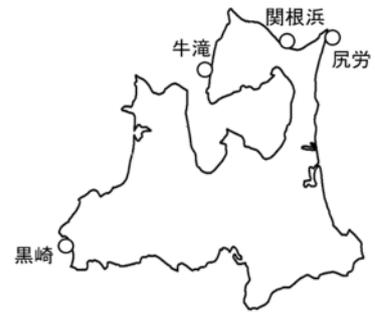


図1. サクラマス幼魚調査地点

結果と考察

採捕数は尻労 209 尾、関根浜 24 尾、牛滝 0 尾、黒崎 0 尾であった。

採捕時期は、尻労では3月下旬～5月下旬で5月中旬に最も多く、関根浜では1月下旬～6月上旬であり採捕数に時期的特徴はみられなかった（図2）。尻労の表層水温とサクラマス幼魚の採捕の有無との関係を調べた結果、表層水温約13℃を境にサクラマス幼魚の採捕がなくなり、水温と北上回遊に密接な関係が確認された（図3）。この表層水温とサクラマス幼魚の回遊の関係について、年によらず一定か、2015年以外でも検証する必要がある。

サクラマス幼魚の尾叉長は、尻労で12.3 cm～28.5 cm、関根浜で15.5 cm～28.0 cmであった（図4）。関根浜では1月～3月まで22 cm以上の大型個体が多かったが、4月以降は少なく、22 cm以下の個体が多かった。

採捕された標識魚は尻労で5尾、関根浜で0尾であった（表1）。標識魚のうち、5月8日に採捕された1尾（ピンクリボンタグ（山））は山形県、5月12日に採捕された1尾（緑リボンタグ（非食用HU））は岩手県で放流されたものであった。

謝辞

調査にご協力いただいた 新深浦町漁業協同組合岩崎支所の佐藤恭三様、佐井村漁業協同組合牛滝支所の大石支所長、関根浜漁業協同組合の高橋専務、尻労漁業協同組合の吉田漁業部に御礼申し上げます。

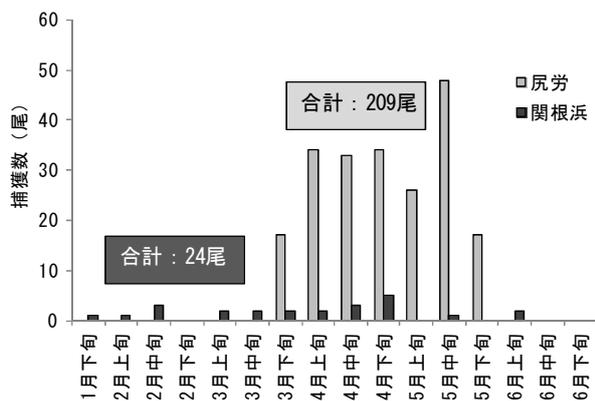


図 2. サクラマス幼魚採捕時期

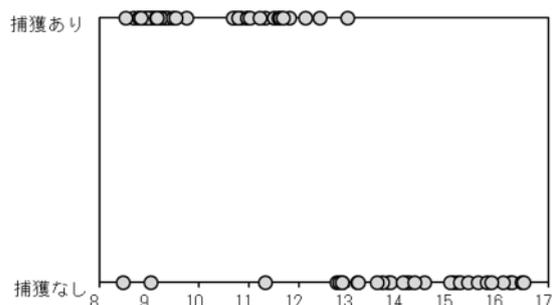


図 3. 表層水温とサクラマス幼魚採捕の関係

表 1. サクラマス幼魚標識魚採捕結果

| 採捕場所 | 標識 | 採捕月日 | 尾叉長 (cm) | 体重 (g) |
|------|---------------------------|-------|----------|--------|
| 尻労 | 脂鱗切除 | 5月8日 | 22.3 | 156.4 |
| | ピンクリボンタグ (山) | 5月8日 | 19.0 | 85.0 |
| | 脂鱗切除 | 5月12日 | 20.8 | 118.9 |
| | 緑リボンタグ (非食用HU) & 腹腔内ピットタグ | 5月12日 | 20.3 | 92.6 |
| | 脂鱗切除 | 5月17日 | 20.0 | 100.7 |
| 関根浜 | なし | - | - | - |

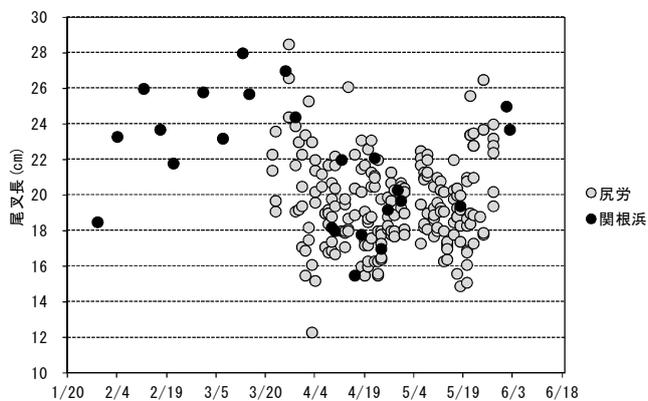


図 4. サクラマス幼魚の採捕時期と尾叉長